

# しきなん

敷島南小学校

学校だより No. 16

令和3年11月24日

学校長 丸茂和也

## ♪ やさしさはやさしさを生む・・・

まだまだ気を抜くことはできない状況ですが、山梨県は、25日間連続で感染がゼロと今のところ落ち着きを見せています。さまざま制限が少しずつ解かれる中で、今日も校舎内やグラウンドに子どもたちの元気な声が響いています。また、児童会役員選挙が間近で、候補者や応援の子どもたちの一生懸命な声も聴くことができます。子どもたちの笑顔や一生懸命何かに打ち込んでいるときの表情が好きです。朝「おはよう」とあいさつをするときや教室やグラウンドで見かける子どもたちのいろんな笑顔は、やる気とパワーをもたらししてくれます。

昨日帰りの車の中でラジオがかかっていた、そのときに「やさしさはやさしさを生む」という言葉が流れていました。その言葉を聞いて、私は自分のこんな昔のできごとを思い出しました。

私が中学校2年生のときでした。友だちと3人でサイクリングをしようということで、日曜日に家から竜王駅を下り今の甲斐市役所の前を通りかかったときでした。私の自転車が、急にパンクをして走れなくなりました。日曜日でまわりのお店は休みで、自転車屋さんも見あたらずに困り果てました。またお金もぜんぜん持っていな



かったのですが、だめでもともとという気持ちで農協さんの事務所があいていたのでそこに声をかけてみました。中にはおじさんというかお兄さんというか体の大きな人が一人で作業をしていました。自転車がパンクをしてしまっ



て走ることができない！とその方に言うと、そりゃこまったね！直してあげるよ！とって私の自転車のパンクを直してくれました。パンクをしている場所が2つあったから1時間くらいかかって汗をかきながら直してくださったことを今もよくおぼえています。

全部直してくれたあと、3人合わせて250円しかなかったけれど、それをわたそうとしたら「お金はいらないよ！そのかわりこんどお前がこまっている人に会ったら、その人にやさしくしてあげなさい」という



言葉と笑顔を私に残してくれました。子どもながらに「自分もやさしい人間になろう」と思いました。今の私がどれだけこまっている人にやさしくできているかは反省が多いですが、この方のやさしい心や笑顔が、40年以上たった今でも、自分をささえてくれるときがあります。

やさしさはやさしさを生んでくれます。笑顔は笑顔を生んでくれます。そしてそのいいところは、自分がだれか他の人にやさしくしても笑顔をおくっても、そのやさ

しさや笑顔はお金や物のように決して減ることがありません。人にやさしくすれば、そのやさしさは広がってどんどん大きくなっていきます。「北風と太陽」という話がありますが、人の心を動かしていくのは北風じゃなくてやっぱり太陽なんだとよく思います。

実りの秋から季節は冬に向かっていきます。外は寒くなりますがその分心は温かくやさしく、学校のみんで歩いていきたい、そんな気持ちを強くしています。

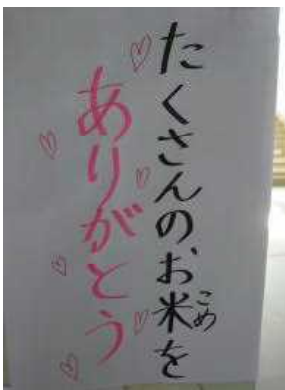


## ♪みんな共に生きていく～児童会アフリカ支援米集めの取り組みから～

11月15日(月)から3日間、「アフリカ支援米」を集める児童会の取り組みがありました。各ご家庭から貴重なお米をいただき、深く感謝申し上げます。

アフリカの国々の中には、国の中の戦争がおもな原因で、食料や水などの生活に欠かせないものが人々に行き渡らない現状があります。いただいたお米が遠い国の方に届き、命を

支えるもとなり、希望につながる。日本でも11年前の3.11の時に多くの外国の方からたくさんの支援をいただいたことを思い出しました。遠い国の方に思いを馳せ、困っている方の力になる、そのことはいずれ自分にかえてくるものとも思います。やさしい心は、出せば出すほど、つかえばつかうほどに大きくなるものですね。



また一つやさしさを、ありがとうを感じる機会となりました。たくさんのお米をいただき、ほんとうにありがとうございました。

本校ではホームページを通じて、学校生活の様子を伝えています。ホームページの「お知らせ」のコーナーに最新の様子が掲載されています。是非アクセスしてみてください。

<http://www.city-kai.ed.jp/smscho/>